



**電子メール アプリケーション内で
Cisco Unity Connection ボイス メッセージに
アクセスするためのユーザ ガイド**

**User Guide for Accessing Cisco Unity Connection Voice
Messages in an Email Application**

リリース 8.x

発行 : 2010 年 2 月

**【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意
(www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)をご確認ください。**

本書は、米国シスコシステムズ発行ドキュメントの参考和訳です。
リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。
あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコシステムズおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコシステムズおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコシステムズまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任は一切負わないものとします。

CCDE, CCENT, CCSI, Cisco Eos, Cisco HealthPresence, Cisco IronPort, the Cisco logo, Cisco Nurse Connect, Cisco Pulse, Cisco SensorBase, Cisco StackPower, Cisco StadiumVision, Cisco TelePresence, Cisco Unified Computing System, Cisco WebEx, DCE, Flip Channels, Flip for Good, Flip Mino, Flipshare (Design), Flip Ultra, Flip Video, Flip Video (Design), Instant Broadband, and Welcome to the Human Network are trademarks; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn, Cisco Capital, Cisco Capital (Design), Cisco:Financed (Stylized), Cisco Store, Flip Gift Card, and One Million Acts of Green are service marks; and Access Registrar, Aironet, AllTouch, AsyncOS, Bringing the Meeting To You, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, CCSP, CCVP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Lumin, Cisco Nexus, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Collaboration Without Limitation, Continuum, EtherFast, EtherSwitch, Event Center, Explorer, Follow Me Browsing, GainMaker, iLYNX, IOS, iPhone, IronPort, the IronPort logo, Laser Link, LightStream, Linksys, MeetingPlace, MeetingPlace Chime Sound, MGX, Networkers, Networking Academy, PCNow, PIX, PowerKEY, PowerPanels, PowerTV, PowerTV (Design), PowerVu, Prisma, ProConnect, ROSA, SenderBase, SMARTnet, Spectrum Expert, StackWise, WebEx, and the WebEx logo are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0910R)

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

電子メール アプリケーション内で *Cisco Unity Connection* ボイス メッセージにアクセスするためのユーザ ガイド (リリース 8.x)

© 2010 Cisco Systems, Inc.

All rights reserved.

Copyright © 2010, シスコシステムズ合同会社.

All rights reserved.



CONTENTS

ViewMail for Outlook について	1
ViewMail for Outlook での Media Master の使用	3
Media Master について	3
録音でのサウンド ファイルの使用	3
Media Master での録音および再生デバイスの変更	4
コンピュータのスピーカーが再生デバイスである場合のメッセージ再生音量の変更	5
コンピュータのスピーカーが再生デバイスである場合のメッセージ再生速度の変更	5
Media Master のキーボード ショートカット	6
ViewMail for Outlook でのメッセージの管理	7
ボイス メッセージの送信	7
メッセージの確認	8
メッセージに対する返信	8
ボイス メッセージの転送	9
削除されたメッセージの管理	9
ViewMail for Outlook の設定の変更	11
新しいボイス メッセージがあることを通知するサウンドの変更	11
自動ボイス メッセージ再生設定の変更	12
送信されたボイス メッセージの保存設定の変更	12
録音デバイスと再生デバイスの変更	12
セキュア メッセージング設定の構成	13
IMAP アカウント設定の変更	14
Cisco PCA パスワードと一致させるための ViewMail for Outlook でのパスワードの更新	14
ViewMail for Notes について	17
ViewMail for Notes での Media Master の使用	19
Media Master について	19
録音でのサウンド ファイルの使用	19
Media Master での録音および再生デバイスの変更	20
コンピュータのスピーカーが再生デバイスである場合のメッセージ再生音量の変更	21

Media Master のキーボード ショートカット	21
ViewMail for Notes でのメッセージの管理	23
ボイス メッセージの送信	23
メッセージの確認	24
ボイス メッセージに対する返信	24
ボイス メッセージの転送	25
削除されたメッセージの管理	25
ViewMail for Notes の設定の変更	27
Cisco PCA パスワードと一致させるための ViewMail for Notes でのパスワードの更新	27
セキュア メッセージングと電話の録音および再生の設定の変更	28
電子メール アプリケーションでの Cisco Unity Connection ボイス メッセージの管理	31
電子メール アプリケーションでのボイス メッセージの管理について	31
電子メール アプリケーションからのボイス メッセージの送信	31
電子メール アプリケーションでのボイス メッセージの確認	32
電子メール アプリケーションでのボイス メッセージの削除	32
Cisco PCA パスワードと一致させるための電子メール アプリケーションのパスワードの更新	32
メールボックスのサイズの管理	33
メールボックス サイズについて	33
メールボックスがすぐに一杯になる理由	33
メッセージ保存ポリシーが適用されていない	33
削除済みアイテムと Non Delivery Receipt がメールボックスの合計サイズに含まれる	34
メッセージの転送時にメッセージの合計サイズに元のサイズが含まれる	34
メッセージの合計サイズに添付ファイルが含まれる	34
メールボックスのサイズの管理に関するヒント	34

INDEX



ViewMail for Outlook について

Cisco Unity Connection ViewMail for Microsoft Outlook では、Outlook からボイス メッセージを送信したり、聞いたり、管理したりすることができます。ViewMail for Outlook フォームでは、Media Master のコントロールを使用してボイス メッセージを再生、録音します。

ViewMail for Outlook を使用して、ボイス メッセージを他のユーザ、Connection 以外のユーザ、およびパブリック同報リストに送信できます。

Outlook のプレビュー ペインでは、ViewMail は使用できません。ViewMail for Outlook を使用するにはメッセージを開く必要があります。

ViewMail for Outlook 設定を変更して次の操作を実行できます。

- 新しいボイス メッセージがあることを通知するサウンドを選択する。
- Outlook フォルダに送信されたボイス メッセージを保存するための設定を構成する。
- 自動再生を設定して、ボイス メッセージを開くとすぐにボイス メッセージの再生が開始されるようにする。

ViewMail for Outlook のヘルプにアクセスするには

- ステップ 1** Outlook の [ヘルプ (Help)] メニューで、[ViewMail ヘルプ トピック (ViewMail Help Topics)] をクリックします。
 - ステップ 2** 左側のペインに示されたトピック リンクをクリックします。
-



ViewMail for Outlook での Media Master の使用

- 「Media Master について」 (P.3)
- 「録音でのサウンド ファイルの使用」 (P.3)
- 「Media Master での録音および再生デバイスの変更」 (P.4)
- 「コンピュータのスピーカーが再生デバイスである場合のメッセージ再生音量の変更」 (P.5)
- 「コンピュータのスピーカーが再生デバイスである場合のメッセージ再生速度の変更」 (P.5)
- 「Media Master のキーボード ショートカット」 (P.6)

Media Master について

Media Master は、ViewMail for Outlook を使用して管理するメッセージに表示されます。メッセージを録音および再生するには、Media Master のコントロールをクリックします。

また、Media Master を使用して、ViewMail for Outlook での作業中に使用する録音と再生のデバイスを変更したり、メッセージの再生音量や再生速度を変更したりします。

Media Master 設定を更新すると、ユーザごとに各コンピュータに保存されます。また、別のコンピュータ（自宅のコンピュータなど）も使用して Media Master にアクセスする場合は、2 台目のコンピュータの Media Master 設定も更新する必要があります。

録音でのサウンド ファイルの使用

[オプション (Options)] メニュー (Media Master の 1 つ目のボタン (下向き矢印)) で、録音に他のサウンド (WAV) ファイルを使用できます。次のサウンド ファイル オプションがあります。

[新規 (New)]	録音を消去して再録音します。
[貼り付け (Paste)]	テキスト ファイルにテキストを貼り付けるのと同じ方法でクリップボードからサウンド録音を貼り付けます。
[ファイルから貼り付け (Paste from File)]	別のサウンド ファイルを録音に貼り付けます。

[コピー (Copy)]	テキスト ファイルにテキストをコピーするのと同じ方法でクリップボードにサウンド録音をコピーします。
[ファイルにコピー (Copy to File)]	名前を付けたサウンドファイルに録音をコピーします。 メッセージに暗号のマークが付いている場合、このオプションは使用できません。

Media Master での録音および再生デバイスの変更

ViewMail for Outlook での作業中にメッセージの録音と再生に使用するデバイスを選択できます。

録音デバイス	<ul style="list-style-type: none"> 電話機：Cisco Unity Connection から電話がかかってきたら、受話器またはスピーカーフォンのマイクに向かって話します。 コンピュータのマイク（使用可能な場合）。
再生デバイス	<ul style="list-style-type: none"> 電話機：Cisco Unity Connection から電話がかかってきたら、受話器またはスピーカーフォンのスピーカーから音声を聞きます。 コンピュータのスピーカー（使用可能な場合）。



ヒント

電話は、録音に最適な音声品質を提供します。

Media Master で録音または再生デバイスを変更するには

- ステップ 1** ボイス メッセージが保存されている Outlook フォルダで、メッセージを開きます。
- ステップ 2** Media Master で、[オプション (Options)] メニュー（1 つ目のボタン、下向き矢印）の [再生デバイス (Playback Devices)] または [録音デバイス (Recording Devices)] をクリックし、一覧で使用するデバイスを選択します。
- ステップ 3** [電話 (Phone)] をデバイスとして選択した場合は、電話の情報が正しいか確認します。
- [オプション (Options)] メニューの [オプション (Options)] をクリックします。
 - [Cisco Unity Connection サーバオプション (Cisco Unity Connection Server Options)] ダイアログボックスの [Cisco Unity Connection サーバ名 (Cisco Unity Connection Server Name)] ボックスに、Connection サーバの名前を入力します（サーバ名がわからない場合は、Connection 管理者に連絡してください）。
 - [ユーザ名 (User Name)] ボックスに、Connection ユーザ名を入力します。
 - [パスワード (Password)] ボックスに、Cisco PCA パスワードを入力します。
 - Outlook を起動するたびにパスワードを入力する必要がないように ViewMail for Outlook にパスワードを保存する場合は、[パスワードの保存 (Remember Password)] チェック ボックスにチェックマークを付けます。
 - 組織でプロキシサーバを使用している場合は、[プロキシサーバアドレス (Proxy Server Address)] ボックスに、プロキシサーバの IP アドレスを入力します。
 - 組織でプロキシサーバを使用している場合は、[プロキシサーバポート (Proxy Server Port)] ボックスに、ポートサーバへの接続時に ViewMail for Outlook で使用する必要のあるサーバのポート番号を入力します。

- h. Connection 管理者から指定があった場合は、[HTTPS 証明書の検証 (Validate HTTPS Certificate)] チェック ボックスにチェックマークを付けます。それ以外の場合、このチェック ボックスはオフにします。
- i. [内線番号 (Extension)] ボックスに内線番号を入力します。
- j. [OK] をクリックします。

ステップ 4 [閉じる (Close)] をクリックしてメッセージを閉じます。

コンピュータのスピーカーが再生デバイスである場合のメッセージ再生音量の変更

ここでは、Media Master でコンピュータのスピーカーを再生デバイスとして設定している場合に、ViewMail for Outlook で再生されるすべてのメッセージの再生音量を変更する手順を説明します。

コンピュータのスピーカーが再生デバイスである場合にメッセージ再生音量を変更するには

- ステップ 1** ボイス メッセージが保存されている Outlook フォルダで、メッセージを開きます。
- ステップ 2** Media Master で、[音量 (Volume)] コントロール スライダをクリックしてドラッグし、音量を調整します。
- ステップ 3** [再生 (Play)] をクリックしてメッセージを再生します。これで、コンピュータのスピーカーで聞く際のメッセージの音量設定が保存されます。
- ステップ 4** [閉じる (Close)] をクリックしてボイス メッセージを閉じます。

コンピュータのスピーカーが再生デバイスである場合のメッセージ再生速度の変更

ここでは、Media Master でコンピュータのスピーカーを再生デバイスとして設定している場合に、ViewMail for Outlook で再生されるすべてのメッセージの再生速度を変更する手順を説明します。

コンピュータのスピーカーが再生デバイスである場合にメッセージ再生速度を変更するには

- ステップ 1** ボイス メッセージが保存されている Outlook フォルダで、メッセージを開きます。
- ステップ 2** Media Master で、[スピード (Speed)] コントロール スライダをクリックしてドラッグし、再生速度を調整します。
- ステップ 3** [再生 (Play)] をクリックしてメッセージを再生します。これで、コンピュータのスピーカーで聞く際のメッセージの速度設定が保存されます。
- ステップ 4** [閉じる (Close)] をクリックしてボイス メッセージを閉じます。

Media Master のキーボード ショートカット

表 1 に、ViewMail for Outlook で Media Master を使用するとき利用できるキーボード ショートカットを示します。

表 1 ViewMail での Media Master のキーボード ショートカット

キー	処理
Alt+Shift+P	再生 / 一時停止
Alt+Shift+S	停止
Alt+Shift+R	録音 / 一時停止
Alt+Shift+M	[オプション (Options)] メニューを開く
Alt+Shift+F3	戻る
Alt+Shift+F4	進む
Alt+Shift+F7	音量を下げる
Alt+Shift+F8	音量を上げる
Alt+Shift+F11	再生速度を遅くする
Alt+Shift+F12	再生速度を速くする

キーボードを使用して、[オプション (Options)] メニューの項目を選択することもできます。[オプション (Options)] メニューで選択するオプションの下線の付いた文字を押します。



ViewMail for Outlook でのメッセージの管理

- 「ボイス メッセージの送信」 (P.7)
- 「メッセージの確認」 (P.8)
- 「メッセージに対する返信」 (P.8)
- 「ボイス メッセージの転送」 (P.9)
- 「削除されたメッセージの管理」 (P.9)

ボイス メッセージの送信

Outlook からボイス メッセージを送信したり、メッセージに対する返信を録音したりできます。メッセージはユーザだけでなく、パブリック同報リストと電子メール アドレスに対して送信、返信、転送できます。

組織に複数のロケーションがある場合は、別のロケーションにいるユーザにメッセージを送信したり、メッセージに返信したりすることができます。詳細については、管理者に問い合わせてください。



(注)

Cisco Unity Connection メールボックスがそのサイズ クォータを超えると、メッセージを送信できなくなる場合があります（「メールボックスのサイズの管理」 (P.33) を参照してください）。

ボイス メッセージを送信するには

ステップ 1 Outlook 受信ボックスの Outlook ツールバーで、[新しいボイスメッセージ (New Voice Message)] アイコンをクリックします。

または

[アクション (Actions)] メニューの [新しいボイスメッセージ (New Voice Message)] をクリックします。

ステップ 2 Connection のユーザ名または電子メール アドレスおよび件名を入力します。



(注) 電子メール アドレス宛のメッセージは、電子メール メッセージに添付されたサウンド (WAV) ファイルとして送信されます。

ステップ 3 Media Master で、[録音 (Record)] (円) をクリックし、メッセージを録音します。

ステップ 4 録音が終わったら、[停止 (Stop)] (四角) をクリックします。

- ステップ 5** 必要に応じてテキストと添付ファイルを追加します。
- ステップ 6** [送信 (Send)] をクリックします。

メッセージの確認

Outlook でボイス メッセージと受信者を確認できます。ボイス メッセージと受信者は、電子メールとは異なる Outlook フォルダに表示されます。

新しいメッセージを一度開くと、削除するまでそのメッセージは保存されます。Connection がメッセージ保存ポリシーが適用されるように設定されているかどうか、およびそのように設定されている場合、メッセージが完全に削除されるまでメッセージが保存される期間を管理者に確認してください。Connection では、メッセージ保存ポリシーが適用されていても示されず、またポリシーの結果としてメッセージが完全に削除される前に警告は示されません。

[送信元 (From)] フィールドの情報は送信者を示します。このフィールドには Connection ユーザの名前が含まれます。また、メッセージが Connection 以外のユーザまたはメッセージが残るまで Connection にログオンしなかったユーザによってメッセージが残されている場合は、「Unity Connection メッセージシステム」が含まれます。[件名 (Subject)] フィールドには、発信者の電話番号 (使用可能な場合) が表示されます。

システムの設定方法に応じて、ボイス メッセージが含まれる Outlook フォルダには他の種類のメッセージ (ファックス メッセージなど) が示される場合があります。

メッセージを確認するには

- ステップ 1** ボイス メッセージを含む Outlook フォルダで、メッセージをダブルクリックして開きます。



(注) Outlook のプレビュー ペインでは、メッセージは確認できません。

- ステップ 2** 開いているボイス メッセージで、Media Master の [再生 (Play)] (右矢印) をクリックしてメッセージを再生します。
- ステップ 3** メッセージで、メッセージ ツールバーのボタンを使用して、電子メール メッセージを処理するのと同じ方法でメッセージを管理します。

メッセージに対する返信

ここに示す手順を実行して、ボイス メッセージに返信するか、返信を録音して電子メール メッセージに返信します。送信者だけに返信することができます。また、受信者を追加することもできます。

「Unity Connection メッセージシステム」からのメッセージは、発信者が Connection ユーザではないか、メッセージが残されたときにログインしていなかったことを示します。そのような発信者からのメッセージには返信できません。

メッセージに返信するには

-
- ステップ 1** 開いているボイス メッセージで、[返信 (Reply)] をクリックします。
または
開いている電子メール メッセージで、[アクション (Actions)] メニューの [音声で返信 (Reply with Voice)] をクリックします。
- ステップ 2** Media Master で、[録音 (Record)] (円) をクリックします。
- ステップ 3** 録音を終了したら、[停止 (Stop)] (四角) をクリックします。
- ステップ 4** 必要に応じてテキストと添付ファイルを追加します。
- ステップ 5** [送信 (Send)] をクリックします。
-

ボイス メッセージの転送

ここに示す手順を使用して、ボイス メッセージをそのまま転送するか、ボイス メッセージまたは電子メール メッセージを転送する前に再生するコメントを録音します。

ボイス メッセージを転送するには

-
- ステップ 1** 開いているボイス メッセージで、[転送 (Forward)] をクリックします。
または
開いている電子メール メッセージで、[アクション (Actions)] メニューの [音声で転送 (Forward with Voice)] をクリックします。
- ステップ 2** 受信者の名前を入力します。
- ステップ 3** Media Master で、[録音 (Record)] (円) をクリックし、コメントを録音します。
- ステップ 4** 録音を終了したら、[停止 (Stop)] (四角) をクリックします。
- ステップ 5** 必要に応じてテキストと添付ファイルを追加します。
- ステップ 6** [送信 (Send)] をクリックします。
-

削除されたメッセージの管理

ボイス メッセージが含まれている Outlook フォルダからメッセージを削除する手順は、電子メール メッセージを削除する手順と同じです。ただし、削除されたボイス メッセージは、灰色の取り消し線付きのテキストで表示されます。削除されたボイス メッセージは、Cisco Unity Connection で消去されるまでボイス メッセージ フォルダに保存されます。

Connection では、特定の時間が経過すると、削除されたメッセージを自動的に消去できます。完全に削除されるまでのメッセージの保存期間については管理者に確認してください。これで、重要なメッセージのアーカイブや移動を前もって計画できます。

**ヒント**

ボイス メッセージを削除する前にアーカイブするには、Media Master の オプション メニューの [ファイルにコピー (Copy to File)] オプションを使用します。

削除されたメッセージを手動で消去することもできます。

削除されたメッセージを手動で消去するには

ボイス メッセージを含む Outlook フォルダで、[編集 (Edit)] メニューの [削除されたメッセージを消去 (Purge Deleted Messages)] をクリックします。



ViewMail for Outlook の設定の変更

- 「新しいボイス メッセージがあることを通知するサウンドの変更」 (P.11)
- 「自動ボイス メッセージ再生設定の変更」 (P.12)
- 「送信されたボイス メッセージの保存設定の変更」 (P.12)
- 「録音デバイスと再生デバイスの変更」 (P.12)
- 「セキュア メッセージング設定の構成」 (P.13)
- 「IMAP アカウント設定の変更」 (P.14)
- 「Cisco PCA パスワードと一致させるための ViewMail for Outlook でのパスワードの更新」 (P.14)

新しいボイス メッセージがあることを通知するサウンドの変更

ボイス メッセージを含む Outlook フォルダに新しいメッセージが届いたことを通知するコンピュータ サウンドを選択できます。このオプションは、コンピュータにマルチメディア スピーカーが搭載されている場合に限り使用できます。

新しいボイス メッセージがあることを通知するサウンドを変更するには

- ステップ 1** Outlook の [ツール (Tools)] メニューの [ViewMail オプション (ViewMail Options)] をクリックします。
- ステップ 2** [ViewMail オプション (ViewMail Options)] ダイアログ ボックスで、[通知 (Notification)] タブをクリックします。
- ステップ 3** 通知オプションを選択します。
オプションのサウンドをプレビューするには、[スピーカー (Speaker)] アイコンをクリックします。
- ステップ 4** 適用可能な場合は、オプションのデフォルト サウンドを変更します。
 - a. [参照 (Browse)] ボタンをクリックします。
 - b. [ファイルの参照 (Browse Files)] ダイアログ ボックスで、サウンド (WAV) ファイルを選択し、[開く (Open)] をクリックします。
- ステップ 5** [ViewMail オプション (ViewMail Options)] ダイアログ ボックスがもう一度表示されたら、[OK] をクリックして変更を保存します。

自動ボイス メッセージ再生設定の変更

自動再生を使用すると、ボイス メッセージが含まれている Outlook フォルダでボイス メッセージを開くとすぐにメッセージの再生が開始されます。自動再生を使用しない場合は、Media Master でボイス メッセージを再生します。

自動ボイス メッセージ再生設定を変更するには

- ステップ 1** Outlook の [ツール (Tools)] メニューの [ViewMail オプション (ViewMail Options)] をクリックします。
- ステップ 2** [一般 (General)] タブをクリックします。
- ステップ 3** [音声を自動的に再生する (Play Voice Automatically)] チェック ボックスにチェックマークを付けるか、外します。
- ステップ 4** [OK] をクリックします。

送信されたボイス メッセージの保存設定の変更

送信されたメッセージのコピーを送信済みアイテムのフォルダに保存するように Outlook を設定している場合、ViewMail for Outlook で送信した各ボイス メッセージのコピーも保存されます。メッセージの録音は保存せずに、メッセージ ヘッダーだけを保存するように ViewMail を設定すると、ハードディスク上の領域を節約できます (メッセージ ヘッダーには、メッセージの受信者、メッセージの送信日時、件名、重要度と機密性、およびサイズが含まれます)。

ボイス メッセージのヘッダーだけを保存するには

- ステップ 1** Outlook の [ツール (Tools)] メニューの [ViewMail オプション (ViewMail Options)] をクリックします。
- ステップ 2** [一般 (General)] タブをクリックします。
- ステップ 3** [[送信済みアイテム] フォルダにメッセージ ヘッダーのみ保存する (Keep Only Message Header in the Sent Items Folder)] チェック ボックスにチェックマークを付けます。
- ステップ 4** [OK] をクリックします。

録音デバイスと再生デバイスの変更

録音デバイスと再生デバイスを変更するには

- ステップ 1** Outlook の [ツール (Tools)] メニューの [ViewMail オプション (ViewMail Options)] をクリックします。
- ステップ 2** [録音 (Record)] または [再生 (Playback)] タブをクリックします。
- ステップ 3** [デバイス (Device)] リストで、使用するデバイスを選択します。

- ステップ 4** 再生デバイスまたは録音デバイスとして [電話 (Phone)] を選択しなかった場合は、[ステップ 13](#) に進みます。
- 再生デバイスまたは録音デバイスに [電話 (Phone)] を選択した場合は、[サーバ (Server)] タブをクリックします。
- ステップ 5** [Cisco Unity Connection サーバ名 (Cisco Unity Connection Server Name)] ボックスに、Connection サーバの名前を入力します (サーバ名がわからない場合は、Connection 管理者に連絡してください)。
- ステップ 6** [ユーザ名 (User Name)] ボックスに、Connection ユーザ名を入力します。
- ステップ 7** [パスワード (Password)] ボックスに、Cisco PCA パスワードを入力します。
- ステップ 8** Outlook を起動するたびにパスワードを入力する必要がないように ViewMail for Outlook にパスワードを保存する場合は、[パスワードの保存 (Remember Password)] チェック ボックスにチェックマークを付けます。
- ステップ 9** 組織でプロキシ サーバを使用している場合は、[プロキシ サーバ アドレス (Proxy Server Address)] ボックスに、プロキシ サーバの IP アドレスを入力します。
- ステップ 10** 組織でプロキシ サーバを使用している場合は、[プロキシ サーバ ポート (Proxy Server Port)] ボックスに、ポート サーバへの接続時に ViewMail for Outlook で使用する必要のあるサーバのポート番号を入力します。
- ステップ 11** Connection 管理者から指定があった場合は、[HTTPS 証明書の検証 (Validate HTTPS Certificate)] チェック ボックスにチェックマークを付けます。それ以外の場合、このチェック ボックスはオフにします。
- ステップ 12** [内線番号 (Extension)] ボックスに内線番号を入力します。
- ステップ 13** [OK] をクリックします。

セキュア メッセージング設定の構成

メッセージに暗号のマークが付くように Cisco Unity Connection が構成されている場合は、Connection サーバと安全に通信できるように Outlook を構成する必要があります。

セキュア メッセージング設定を構成するには

- ステップ 1** Outlook の [ツール (Tools)] メニューの [ViewMail オプション (ViewMail Options)] をクリックします。
- ステップ 2** [サーバ (Server)] タブをクリックします。
- ステップ 3** [Cisco Unity Connection サーバ名 (Cisco Unity Connection Server Name)] ボックスに、Connection サーバの名前を入力します (サーバ名がわからない場合は、Connection 管理者に連絡してください)。
- ステップ 4** [ユーザ名 (User Name)] ボックスに、Connection ユーザ名を入力します。
- ステップ 5** [パスワード (Password)] ボックスに、Cisco PCA パスワードを入力します。
- ステップ 6** Outlook を起動するたびにパスワードを入力する必要がないように ViewMail for Outlook にパスワードを保存する場合は、[パスワードの保存 (Remember Password)] チェック ボックスにチェックマークを付けます。
- ステップ 7** 組織でプロキシ サーバを使用している場合は、[プロキシ サーバ アドレス (Proxy Server Address)] ボックスに、プロキシ サーバの IP アドレスを入力します。

■ IMAP アカウント設定の変更

- ステップ 8** 組織でプロキシ サーバを使用している場合は、[プロキシ サーバ ポート (Proxy Server Port)] ボックスに、ポート サーバへの接続時に ViewMail for Outlook で使用する必要のあるサーバのポート番号を入力します。
- ステップ 9** Connection 管理者から指定があった場合は、[HTTPS 証明書の検証 (Validate HTTPS Certificate)] チェック ボックスにチェックマークを付けます。それ以外の場合、このチェック ボックスはオフにします。
- ステップ 10** [OK] をクリックします。

IMAP アカウント設定の変更

Outlook で複数の IMAP アカウントを構成している場合は、Cisco Unity Connection と関連付けられているアカウントを識別する必要があります。

IMAP アカウント設定を変更するには

- ステップ 1** Outlook の [ツール (Tools)] メニューの [ViewMail オプション (ViewMail Options)] をクリックします。
- ステップ 2** [アカウント (Accounts)] タブをクリックします。
- ステップ 3** [Cisco Unity Connection にアクセスするアカウントを選択 (Select the Accounts to Access Cisco Unity Connection With)] リストで、Connection へのアクセスに使用する IMAP アカウントを選択します。
- ステップ 4** [OK] をクリックします。

Cisco PCA パスワードと一致させるための ViewMail for Outlook でのパスワードの更新

ViewMail for Outlook では Cisco Unity Connection ユーザ名と Cisco PCA パスワードを使用して Connection アカウントにアクセスし、ボイス メッセージを取得します。Messaging Assistant Web ツールで Cisco PCA パスワードを変更したときは、ViewMail でパスワードを更新する必要があります。これにより、ViewMail for Outlook で継続して Connection アカウントにアクセスできます。

ViewMail for Outlook でボイス メッセージの送受信に問題がある場合は、次のヒントを参考にしてください。

- Microsoft Outlook でパスワードの入力を要求されても、そのパスワードが受け入れられない場合、Cisco PCA パスワードは期限が切れているか変更されている、またはロックされている可能性があります。最初に Cisco PCA パスワードを Messaging Assistant で変更してから、ViewMail for Outlook でパスワードを更新してください。
- 電話を使用して ViewMail for Outlook でメッセージを再生または録音しようとしてエラーが表示される場合、Cisco PCA パスワードは期限が切れているか変更されている、またはロックされている可能性があります。最初に Cisco PCA パスワードを Messaging Assistant で変更してから、ViewMail でパスワードを更新してください。

- セキュア メッセージを再生または録音しようとしてエラーが表示される場合、Cisco PCA パスワードは期限が切れているか変更されている、またはロックされている可能性があります。最初に Cisco PCA パスワードを Messaging Assistant で変更してから、ViewMail for Outlook でパスワードを更新してください。

Cisco PCA パスワードと一致するように ViewMail for Outlook でパスワードを更新するには

-
- ステップ 1** Outlook の [ツール (Tools)] メニューの [ViewMail オプション (ViewMail Options)] をクリックします。
 - ステップ 2** [サーバ (Server)] タブをクリックします。
 - ステップ 3** [パスワード (Password)] ボックスに、Messaging Assistant で変更した新しい Cisco PCA パスワードを入力します。
 - ステップ 4** [OK] をクリックします。
 - ステップ 5** Outlook の [ツール (Tools)] メニューで、[電子メール アカウント (Email Accounts)] をクリックします。
 - ステップ 6** [既存の電子メール アカウントの表示と変更 (View or Change Existing Email Accounts)] を選択し、[次へ (Next)] をクリックします。
 - ステップ 7** Cisco Unity Connection にアクセスするために使用される IMAP アカウントを選択し、[変更 (Change)] をクリックします。
 - ステップ 8** [パスワード (Password)] ボックスに、Messaging Assistant で変更した新しい Cisco PCA パスワードを入力します。
 - ステップ 9** [次へ (Next)] をクリックし、[完了 (Finish)] をクリックします。
-



ViewMail for Notes について

Cisco Unity Connection ViewMail for IBM Lotus Notes では、Notes からボイス メッセージを送信したり、聞いたり、管理することができます。ボイス メッセージ フォームでは、Media Master のコントロールを使用してボイス メッセージを再生、録音します。

ViewMail for Notes を使用して、ボイス メッセージを他のユーザ、Connection 以外のユーザ、およびパブリック同報リストに送信できます。

Notes のプレビュー ペインでは、ViewMail は使用できません。ViewMail for Notes を使用するにはメッセージを開く必要があります。

ViewMail for Notes のヘルプにアクセスするには

- ステップ 1** ViewMail for Notes 受信ボックスで、[ヘルプ (Help)] ボタンを選択します。
 - ステップ 2** 左側のペインに示された ViewMail for Notes トピック リンクを選択します。
-



ViewMail for Notes での Media Master の使用

- 「Media Master について」 (P.19)
- 「録音でのサウンド ファイルの使用」 (P.19)
- 「Media Master での録音および再生デバイスの変更」 (P.20)
- 「コンピュータのスピーカーが再生デバイスである場合のメッセージ再生音量の変更」 (P.21)
- 「Media Master のキーボード ショートカット」 (P.21)

Media Master について

Media Master は、ViewMail for Notes 受信ボックスで管理するメッセージに表示されます。メッセージを録音および再生するには、Media Master のコントロールをクリックします。

また、Media Master を使用して、ViewMail for Notes での作業中に使用する録音と再生のデバイスを変更したり、メッセージの再生音量を変更したりします。

Media Master 設定を更新すると、ユーザごとに各コンピュータに保存されます。また、別のコンピュータ（自宅のコンピュータなど）も使用して Media Master にアクセスする場合は、2 台目のコンピュータの Media Master 設定も更新する必要があります。

録音でのサウンド ファイルの使用

[オプション (Options)] メニュー (Media Master の 1 つ目のボタン (下向き矢印)) で、録音に他のサウンド (WAV) ファイルを使用できます。次のサウンド ファイル オプションがあります。

[新規 (New)]	録音を消去して再録音します。
[貼り付け (Paste)]	テキスト ファイルにテキストを貼り付けるのと同じ方法でクリップボードからサウンド録音を貼り付けます。
[ファイルから貼り付け (Paste from File)]	別のサウンド ファイルを録音に貼り付けます。

[コピー (Copy)]	テキスト ファイルにテキストをコピーするのと同じ方法でクリップボードにサウンド録音をコピーします。
[ファイルにコピー (Copy to File)]	名前を付けたサウンド ファイルに録音をコピーします。 メッセージに暗号のマークが付いている場合、このオプションは使用できません。

Media Master での録音および再生デバイスの変更

ViewMail for Notes での作業中にメッセージの録音と再生に使用するデバイスを選択できます。

録音デバイス	<ul style="list-style-type: none"> 電話機：Cisco Unity Connection から電話がかかってきたら、受話器、ヘッドセット、またはスピーカーフォンのマイクに向かって話します。 マイク：コンピュータで使用します (使用可能な場合)。 <p>ヒント 電話は、録音に最適な音声品質を提供します。</p>
再生デバイス	<ul style="list-style-type: none"> 電話機：Cisco Unity Connection から電話がかかってきたら、受話器、ヘッドセット、またはスピーカーフォンのスピーカーから音声を聞きます。 スピーカー：コンピュータで使用します (使用可能な場合)。

次の手順を実行するときに、一部のフィールドに値が入力されていない場合は、必要な情報について Connection 管理者に問い合わせる必要があります。

Media Master で録音または再生デバイスを変更するには

- ステップ 1** ViewMail for Notes 受信ボックスで、メッセージを開きます。
- ステップ 2** Media Master で、下向き矢印 (1 つ目のボタン) を選択し、[再生デバイス (Playback Devices)] または [録音デバイス (Recording Devices)] をクリックし、一覧で使用するデバイスを選択します。
- ステップ 3** デバイスとして [電話 (Phone)] を選択した場合は、個人情報とサーバ情報を確認します。
 - a. Media Master で、下向き矢印 (1 つ目のボタン) を選択し、[オプション (Options)] を選択します。
 - b. [Cisco Unity Connection サーバ オプション (Cisco Unity Connection Server Options)] ダイアログで、必要に応じて設定を変更します。

[Cisco Unity Connection サーバ名 (Cisco Unity Connection Server Name)]	Connection サーバの名前を入力します。 ヒント サーバ名、ユーザ名、パスワード、および内線番号の各フィールドの値は、ViewMail for Notes アカウントの作成時に情報が入力されていれば自動的に表示されます。
[ユーザ名 (User Name)]	Connection ユーザの名前を入力します。
[パスワード (Password)]	Cisco Personal Communications Assistant パスワードを入力します。
[パスワードの保存 (Remember Password)]	Notes が起動するたびにパスワードを再入力しなくて済むように、ViewMail for Notes に Cisco PCA パスワードを保存するためのチェックボックスをオンにします。
[プロキシ サーバアドレス (Proxy Server Address)]	ユーザ ワークステーションと Connection サーバ間の HTTPS トラフィックをブロックするファイアウォールがある場合は、HTTPS プロキシ サーバの IP アドレスを入力します。

[プロキシ サーバ ポート (Proxy Server Port)]	ユーザ ワークステーションと Connection サーバ間に HTTPS トラフィックをブロックするファイアウォールがある場合は、HTTPS プロキシ サーバへの接続時に使用するサーバポートを入力します。
[HTTPS 証明書の検証 (Validate HTTPS Certificate)]	Connection 管理者から指定があった場合は、このチェック ボックスをオンにします。それ以外の場合、このチェック ボックスはオフにします。
[内線番号 (Extension)]	内線番号を入力します。

c. [OK] をクリックします。

ステップ 4 ボイス メッセージを閉じます。

コンピュータのスピーカーが再生デバイスである場合のメッセージ再生音量の変更

ここでは、Media Master でコンピュータのスピーカーを再生デバイスとして設定している場合に、ViewMail for Notes で再生されるすべてのメッセージの再生音量を変更する手順を説明します。

コンピュータのスピーカーが再生デバイスである場合にメッセージ再生音量を変更するには

ステップ 1 ViewMail for Notes 受信ボックスで、ボイス メッセージを開きます。

ステップ 2 Media Master で、[音量 (Volume)] コントロール スライダをクリックしてドラッグし、音量を調整します。

ステップ 3 [再生 (Play)] (右矢印、2 つ目のボタン) を選択してメッセージを再生します。これで、コンピュータのスピーカーで聞く際のメッセージの音量設定が保存されます。

ステップ 4 ボイス メッセージを閉じます。

Media Master のキーボード ショートカット

表 2 に、ViewMail for Notes で Media Master を使用するとき利用できるキーボード ショートカットを示します。



(注)

これらのショートカットは、1 つのボイス メッセージが開いているときに限り機能します。複数のボイス メッセージが開いている場合、ショートカットは機能しません。

表 2 ViewMail での Media Master のキーボード ショートカット

キー	処理
Alt+Shift+P	再生 / 一時停止
Alt+Shift+S	停止

表 2 ViewMail での Media Master のキーボード ショートカット (続き)

キー	処理
Alt+Shift+R	録音 / 一時停止
Alt+Shift+M	[オプション (Options)] メニューを開く
Alt+Shift+F3	戻る
Alt+Shift+F4	進む
Alt+Shift+F7	音量を下げる
Alt+Shift+F8	音量を上げる



ViewMail for Notes でのメッセージの管理

- 「ボイス メッセージの送信」 (P.23)
- 「メッセージの確認」 (P.24)
- 「ボイス メッセージに対する返信」 (P.24)
- 「ボイス メッセージの転送」 (P.25)
- 「削除されたメッセージの管理」 (P.25)

ボイス メッセージの送信

ViewMail for Notes の受信ボックスで、ボイス メッセージを送信したり、メッセージに対する返信を録音したりできます。メッセージはユーザだけでなく、パブリック同報リストと電子メール アドレスに対して送信、返信、転送できます。

組織に複数のロケーションがある場合は、別のロケーションにいるユーザにメッセージを送信したり、ユーザからのメッセージに返信したりすることができます。詳細については、管理者に問い合わせてください。



(注) Cisco Unity Connection メールボックスがそのサイズ クォータを超えると、新しいメッセージを受信できなくなる場合があります（「[メールボックスのサイズの管理](#)」 (P.33) を参照してください）。

ボイス メッセージを送信するには

- ステップ 1** ViewMail for Notes の受信ボックスで、[新しいメモ (New Memo)] を選択します。
- ステップ 2** Connection ユーザまたは同報リストの名前、または電子メール アドレスおよび件名を入力します。

(注) 電子メール アドレス宛のメッセージは、電子メール メッセージに添付されたサウンド (WAV) ファイルとして送信されます。
- ステップ 3** Media Master で、[録音 (Record)] (円、4 つ目のボタン) を選択し、メッセージを録音します。
- ステップ 4** 録音が終了したら、[停止 (Stop)] (四角、3 つ目のボタン) を選択します。
- ステップ 5** 必要に応じてテキストと添付ファイルを追加します。
- ステップ 6** [送信 (Send)] を選択します。

メッセージの確認

ViewMail for Notes の受信ボックスで、ボイス メッセージと受信者を確認できます。

新しいメッセージを一度開くと、削除するまでそのメッセージは保存されます。Connection がメッセージ保存ポリシーが適用されるように設定されているかどうか、およびそのように設定されている場合、メッセージが完全に削除されるまでメッセージが保存される期間を管理者に確認してください。Connection では、メッセージ保存ポリシーが適用されていても示されず、またポリシーの結果としてメッセージが完全に削除される前に警告は示されません。

メッセージの「送信元」エリア（左上隅）の情報で送信者を識別します。このボックスには Connection ユーザの電子メール アドレスが含まれます。また、メッセージが Connection 以外のユーザまたはメッセージが残るまで Connection にログオンしなかったユーザによってメッセージが残されている場合は、「Cisco Unity Connection メッセージシステム」が含まれます。

システムの設定方法に応じて、ViewMail for Notes の受信ボックスには他の種類のメッセージ（ファックス メッセージなど）が表示される場合があります。

メッセージを確認するには

ステップ 1 ViewMail for Notes の受信ボックスで、ボイス メッセージをダブルクリックして開きます。



(注) Notes のプレビュー ペインでは、メッセージは確認できません。

ステップ 2 開いているボイス メッセージで、Media Master の [再生 (Play)] (右矢印、2 つ目のボタン) をクリックしてメッセージを再生します。

ステップ 3 メッセージで、メッセージ ツールバーのボタンを使用して、電子メール メッセージを処理するのと同じ方法でメッセージを管理します。

ボイス メッセージに対する返信

ここに示す手順を実行して、ボイス メッセージに返信します。送信者またはすべての受信者に返信したり、受信者を追加したりできます。

「Cisco Unity Connection メッセージシステム」からのメッセージは、発信者が Connection ユーザではないか、メッセージが残されたときにログオンしていなかったことを示します。そのような発信者からのメッセージには返信できません。

ボイス メッセージに返信するには

ステップ 1 ViewMail for Notes の受信ボックスで、開いたボイス メッセージの [返信 (Reply)] を選択してから、[返信 (Reply)]、[履歴で返信 (Reply with History)]、[全員に返信 (Reply to All)]、または [履歴で全員に返信 (Reply to All with History)] を選択します。

または

[アクション (Actions)] メニューの [返信 (Reply)] を選択し、[履歴で返信 (Reply with History)]、[全員に返信 (Reply to All)]、または [履歴で全員に返信 (Reply to All with History)] を選択します。



(注) 履歴で返信する方法は、セキュアではないメッセージでだけ使用できます。

- ステップ 2 Media Master で、[録音 (Record)] (4 つ目のボタン、円) を選択します。
- ステップ 3 録音を終了したら、[停止 (Stop)] (3 つ目のボタン、四角) を選択します。
- ステップ 4 必要に応じてテキストと添付ファイルを追加します。
- ステップ 5 [送信 (Send)] を選択します。

ボイス メッセージの転送

ここに示す手順を使用して、ボイス メッセージをそのまま転送するか、ボイス メッセージを転送する前に再生するコメントを録音します。

ボイス メッセージを転送するには

- ステップ 1 ViewMail for Notes 受信ボックスの開いたボイス メッセージで、[転送 (Forward)] を選択します。
または
[アクション (Actions)] メニューの [転送 (Forward)] を選択します。
- ステップ 2 Connection ユーザまたは同報リストの名前、あるいは電子メール アドレスを入力します。



(注) 電子メール アドレス宛のメッセージは、電子メール メッセージに添付されたサウンド (WAV) ファイルとして送信されます。

- ステップ 3 Media Master で [録音 (Record)] (円、4 つ目のボタン) を選択し、コメントを録音します。
- ステップ 4 録音を終了したら、[停止 (Stop)] (四角、3 つ目のボタン) を選択します。
- ステップ 5 必要に応じてテキストと添付ファイルを追加します。
- ステップ 6 [送信 (Send)] を選択します。

削除されたメッセージの管理

電子メールを削除するのと同じ方法で、ViewMail for Notes の受信ボックスからメッセージを削除します。

Connection では、特定の時間が経過すると、メッセージを自動的に削除できます。完全に削除されるまでのメッセージの保存期間については管理者に確認してください。これで、重要なメッセージのアーカイブや移動を前もって計画できます。



ヒント

ボイス メッセージを削除する前にアーカイブするには、Media Master のオプション メニュー (下向き矢印、1 つ目のボタン) の [ファイルにコピー (Copy to File)] オプションを使用します。



ViewMail for Notes の設定の変更

- 「Cisco PCA パスワードと一致させるための ViewMail for Notes でのパスワードの更新」 (P.27)
- 「セキュア メッセージングと電話の録音および再生の設定の変更」 (P.28)

Cisco PCA パスワードと一致させるための ViewMail for Notes でのパスワードの更新

ViewMail for Notes では Cisco Unity Connection ユーザ名と Cisco Personal Communications Assistant (PCA) パスワードを使用して Connection アカウントにアクセスし、ボイス メッセージを取得します。Messaging Assistant Web ツールで Cisco PCA パスワードを変更したときは、ViewMail for Notes でパスワードを更新する必要があります。これにより、ViewMail で継続して Connection アカウントにアクセスできます。

ViewMail for Notes でボイス メッセージの送受信に問題がある場合は、次のヒントを参考にしてください。

- Notes でパスワードの入力を要求されても、そのパスワードが受け入れられない場合、Cisco PCA パスワードは期限が切れているか変更されている、またはロックされている可能性があります。最初に Cisco PCA パスワードを Messaging Assistant で変更してから、ViewMail for Notes でパスワードを更新してください。
- 電話を使用して ViewMail for Notes でメッセージを再生または録音しようとしてエラーが表示される場合、Cisco PCA パスワードは期限が切れているか変更されている、またはロックされている可能性があります。最初に Cisco PCA パスワードを Messaging Assistant で変更してから、ViewMail でパスワードを更新してください。
- セキュア メッセージを再生または録音しようとしてエラーが表示される場合、Cisco PCA パスワードは期限が切れているか変更されている、またはロックされている可能性があります。最初に Cisco PCA パスワードを Messaging Assistant で変更してから、ViewMail for Notes でパスワードを更新してください。

Cisco PCA パスワードと一致するように ViewMail for Notes でパスワードを更新するには

- ステップ 1** ViewMail for Notes 受信ボックスを閉じます。
- ステップ 2** Notes で、[Local Names and Address Book] を開きます。

ステップ 3 [File] メニューで、次のように Notes のバージョンに応じて適切なオプションを選択します。

Notes 8.x	[Open] > [Lotus Notes Application]
Notes 7.03 および 7.02	[Database] > [Open]

ステップ 4 [Look In] フィールドで、次のように Notes のバージョンに応じて適切な値をそのまま使用します。

Notes 8.x	[On My Computer]
Notes 7.03 および 7.02	[Local]

ステップ 5 [File Name] フィールドには、「names.nsf」と入力します。

ステップ 6 [Advanced] カテゴリを選択し、[Accounts] ビューを選択します。

ステップ 7 ViewMail for Notes アカウントを選択し、[Edit Account] を選択します。

ステップ 8 [Password] ボックスに、Messaging Assistant で変更した新しい Cisco PCA パスワードを入力します。

ステップ 9 [Save] を選択し、[Close] をクリックします。

ステップ 10 ViewMail for Notes 受信ボックスを開きます。

セキュア メッセージングと電話の録音および再生の設定の変更

この手順で入力する情報は、電話でメッセージを録音または再生したり、セキュア メッセージを聞いたり送信したりするときに ViewMail for Notes で使用します。

次の手順を実行するときに、一部のフィールドに値が入力されていない場合は、必要な情報について Connection 管理者に問い合わせる必要があります。

セキュア メッセージングと電話の録音および再生の設定を変更するには

ステップ 1 ViewMail for Notes 受信ボックスで、ボイス メッセージを開きます。

ステップ 2 Media Master で、下向き矢印 (1 つ目のボタン) を選択し、[オプション (Options)] を選択します。

ステップ 3 [Cisco Unity Connection サーバ オプション (Cisco Unity Connection Server Options)] ダイアログで、該当の設定を変更します。

[Cisco Unity Connection サーバ名 (Cisco Unity ConnectionServer Name)]	Cisco Unity Connection サーバの IP アドレスまたは DNS 名を入力します。 ヒント サーバ名、ユーザ名、パスワード、および内線番号の各フィールドの値は、ViewMail for Notes アカウントの作成時に情報が入力されていれば自動的に表示されます。
[ユーザ名 (User Name)]	Connection ユーザの名前を入力します。

[パスワード (Password)]	Cisco Personal Communications Assistant (PCA) パスワードを入力します。
[パスワードの保存 (Remember Password)]	Notes が起動するたびにパスワードを再入力しなくて済むように、ViewMail for Notes に Cisco PCA パスワードを保存するためのチェック ボックスをオンにします。
[プロキシ サーバアドレス (Proxy Server Address)]	ユーザ ワークステーションと Connection サーバ間の HTTPS トラフィックをブロックするファイアウォールがある場合は、HTTPS プロキシ サーバの IP アドレスを入力します。
[プロキシ サーバポート (Proxy Server Port)]	ユーザ ワークステーションと Connection サーバ間に HTTPS トラフィックをブロックするファイアウォールがある場合は、HTTPS プロキシ サーバへの接続時に使用するサーバ ポートを入力します。
[HTTPS 証明書の検証 (Validate HTTPS Certificate)]	Connection 管理者から指定があった場合は、このチェック ボックスをオンにします。それ以外の場合、このチェック ボックスはオフにします。
[内線番号 (Extension)]	内線番号を入力します。

ステップ 4 [OK] をクリックします。



電子メール アプリケーションでの Cisco Unity Connection ボイス メッセージ の管理

- 「電子メール アプリケーションでのボイス メッセージの管理について」 (P.31)
- 「電子メール アプリケーションからのボイス メッセージの送信」 (P.31)
- 「電子メール アプリケーションでのボイス メッセージの確認」 (P.32)
- 「電子メール アプリケーションでのボイス メッセージの削除」 (P.32)
- 「Cisco PCA パスワードと一致させるための電子メール アプリケーションのパスワードの更新」 (P.32)

電子メール アプリケーションでのボイス メッセージの管理 について

Cisco Unity Connection を使用すると、電子メール アプリケーションでボイス メッセージと受信確認にアクセスできます。

ボイス メッセージのロケーションは電子メール アプリケーションによって異なりますが、通常ボイス メッセージは電子メール アプリケーション内の個別のフォルダに保存されます。メッセージには、録音を含む WAV 添付ファイルが含まれます。ボイス メッセージを再生するには、添付ファイルを開きます。

システムの設定方法に応じて、ボイス メッセージが含まれるフォルダには他の種類のメッセージ (ファックス メッセージなど) が示される場合があります。

電子メール アプリケーションからのボイス メッセージの 送信

電子メール アプリケーションでは、ボイス メッセージを録音したり、ボイス メッセージに返信したりすることはできません。

テキストでのみボイス メッセージに返信できます。ボイス メッセージは転送できますが、コメントを追加する場合は、コメントもテキストだけになります。

システムの設定方法によっては、Connection ユーザではない受信者への返信やそれらの受信者に転送したメッセージが配信されないことがあります。そのような場合は、Non Delivery Receipt (NDR) を受信します。



(注)

Cisco Unity Connection メールボックスがそのサイズ クォータを超えると、メッセージを送信できなくなる場合があります（「[メールボックスのサイズの管理](#)」(P.33) を参照してください）。

電子メール アプリケーションでのボイス メッセージの確認

通常、ボイス メッセージと受信者は電子メール アプリケーションの個別のフォルダに表示されます。メッセージには、録音を含む WAV 添付ファイルが含まれます。ボイス メッセージを再生するには、添付ファイルを開きます。

電子メール アプリケーションで、新しい電子メール メッセージが届いたことを通知するのと同じように新しいボイス メッセージが届いたことを通知できます。

メッセージの [送信元 (From)] フィールドには、Connection ユーザの名前か、「Unity Connection メッセージングシステム」が含まれます。「Unity Connection メッセージングシステム」は、Connection 以外のユーザまたはメッセージを残す前にログオンしていなかったユーザによってメッセージが残されていることを示します。[件名 (Subject)] フィールドには、発信者の電話番号（使用可能な場合）が表示されます。

電子メール アプリケーションでのボイス メッセージの削除

ボイス メッセージは、電子メール メッセージと同じ方法で電子メール アプリケーションから削除できます。システムの設定方法によっては、電子メール アプリケーションで削除されたメッセージを取得してメッセージを聞いたり、削除されたメッセージをフォルダに復元したり、メッセージを完全に削除したりすることもできます。

一部の電子メール アプリケーションでは、削除されたメッセージ フォルダを定期的に消去して、ボイス メッセージを完全に削除する必要がある場合があります。電子メール アプリケーションでこの手順が必要かどうかについては、Connection 管理者に問い合わせてください。

Cisco PCA パスワードと一致させるための電子メール アプリケーションのパスワードの更新

電子メール アプリケーションでは、Connection ユーザ名と Cisco PCA パスワードを使用して、Connection アカウントにアクセスし、ボイス メッセージを取得します。Messaging Assistant Web ツールで Cisco PCA パスワードを変更した場合は、電子メール アプリケーションでパスワードを更新する必要があります。これにより、電子メール アプリケーションで継続して Connection アカウントにアクセスできます。

電子メール アプリケーションでパスワードの入力を要求されても、そのパスワードが受け入れられない場合、Cisco PCA パスワードは期限が切れているか変更されている、またはロックされている可能性があります。最初に Messaging Assistant で Cisco PCA パスワードを変更してから、電子メール アプリケーションでパスワードを更新してください。

各電子メール アプリケーションでのパスワードの更新の詳細については、Connection 管理者に問い合わせてください。



メールボックスのサイズの管理

- 「メールボックス サイズについて」 (P.33)
- 「メールボックスがすぐに一杯になる理由」 (P.33)
- 「メールボックスのサイズの管理に関するヒント」 (P.34)

メールボックス サイズについて

メールボックスが一杯になると、Cisco Unity Connection でメッセージを処理する速度に影響を与える可能性があります。電話でログオンした場合、メールボックスが次の状態のときに Connection から通知されます。

- 間もなく一杯になる場合
- 一杯になり、新しいメッセージを送信できない場合
- 一杯になり、新しいメッセージを送受信できない場合

Connection 管理者が、メールボックスの保存の限度を設定します。これらの制限を超えると、メッセージの送受信ができなくなる場合があります。



(注)

システム ブロードキャスト メッセージは、メールボックスの合計サイズに含まれません。

メールボックスがすぐに一杯になる理由

Cisco Unity Connection メールボックスが予想よりもすぐに一杯になる場合は、次のような理由が考えられます (Connection 管理者がメールボックスのサイズを指定します)。

メッセージ保存ポリシーが適用されていない

Connection 管理者がシステムにメッセージ保存ポリシーを適用していない場合は、保存されたメッセージを定期的に確認し、それらを移動、アーカイブまたは完全に削除してメールボックスのサイズを管理する必要があります。

Connection がメッセージ保存ポリシーが適用されるように設定されている場合は、メッセージが完全に削除されるまでメッセージが保存される期間を Connection 管理者に確認してください。これで、重要なメッセージのアーカイブや移動を前もって計画できます。Connection では、メッセージ保存ポリシーが適用されていても示されず、またポリシーの結果としてメッセージが完全に削除される前に警告は示されません。

削除済みアイテムと Non Delivery Receipt がメールボックスの合計サイズに含まれる

削除されたメッセージはボイス メッセージ フォルダに残り、Connection で消去されるまで、または手動で消去するまでは、メールボックスの合計サイズに含まれます。完全に削除されるまでのメッセージの保存期間については管理者に確認してください。これで、重要なメッセージのアーカイブや移動を前もって計画できます。

また、送信したメッセージについて Non Delivery Receipt (NDR) を受信した場合、特に元のメッセージに大きい添付ファイルが含まれている場合は、メールボックスのサイズがすぐに増える可能性があります。

メッセージの転送時にメッセージの合計サイズに元のサイズが含まれる

何度も繰り返し転送されて、サイズが増えたメッセージを受信する場合があります。元のメッセージに、転送中に追加されたすべての録音済みコメントを加えたサイズが、メッセージの合計サイズになります。そのため、保存されているメッセージの数が比較的少ない場合でも、メールボックスが制限を超える可能性があります。

メッセージの合計サイズに添付ファイルが含まれる

スプレッドシート、ドキュメント、ファックス、画像などの添付ファイルが含まれているメッセージを受信する場合があります。この場合、メッセージにすべての添付ファイルを加えたサイズがメッセージの合計サイズになります。そのため、保存されているメッセージの数が比較的少ない場合でも、メールボックスが制限を超える可能性があります。

メールボックスのサイズの管理に関するヒント

次に示すヒントは、メールボックスの領域を確保するのに役立ちます。

- メッセージを削除する。
- 削除されたメッセージをボイス メッセージ フォルダから手動で消去する。
- ボイス メッセージをハード ディスク上のフォルダに移動した後に、それらのメッセージを電子メール アプリケーションから削除する（この機能はシステムによっては使用できない場合があります。この機能が使用できるかどうかについては、Connection 管理者に問い合わせてください）。



INDEX

C

Cisco PCA

一致させるための電子メール アプリケーションのパスワードの更新 **32**

パスワードの更新

一致させるための ViewMail for Notes での **27**

一致させるための ViewMail for Outlook での **14**

Cisco Unity Connection ViewMail for IBM Lotus Notes 「ViewMail for Notes」を参照

Cisco Unity Connection ViewMail for Microsoft Outlook 「ViewMail for Outlook」を参照

I

IMAP アカウント設定、ViewMail for Outlook での変更 **14**

M

Media Master

ViewMail for Notes

概要 **19**

キーボードショートカット **21**

すべてのメッセージのスピーカー再生音量の変更 **21**

録音でのサウンド ファイルの使用 **19**

録音デバイスと再生デバイスの変更 **20**

ViewMail for Outlook

概要 **3**

キーボードショートカット **6**

すべてのメッセージのスピーカー再生音量の変更 **5**

すべてのメッセージのスピーカー再生速度の変更 **5**

録音でのサウンド ファイルの使用 **3**

録音デバイスと再生デバイスの変更 **4**

N

Non Delivery Receipt、メールボックス サイズへの影響 **34**

U

Unity Connection メッセージシステム、ボイス メッセージ

ViewMail for Notes **24**

ViewMail for Outlook **8**

V

ViewMail for Notes

Cisco PCA パスワードと一致させるためのパスワードの更新 **27**

削除されたメッセージの管理 **25**

セキュア メッセージング設定の構成 **28**

ヘルプ、アクセス **17**

ボイス メッセージの送信 **23**

メッセージに対する返信 **24**

メッセージの確認 **24**

メッセージの転送 **25**

ViewMail for Outlook

Cisco PCA パスワードと一致させるためのパスワードの更新 **14**

IMAP アカウント設定の変更 **14**

新しいボイス メッセージを通知するサウンドの変更	11
概要	1
削除されたメッセージの管理	9
削除されたメッセージの手動による消去	10
自動ボイス メッセージ再生設定の変更	12
セキュア メッセージング設定の構成	13
送信されたボイスメッセージの保存設定の変更	12
ヘルプ、アクセス	1
ボイス メッセージの送信	7
メッセージに対する返信	8
メッセージの確認	8
メッセージの転送	9
録音デバイスと再生デバイスの変更	12

い

一杯のメールボックス	
通知	33
理由	33

お

音量、すべてのメッセージのスピーカー再生の変更	
Media Master (ViewMail for Notes)	21
Media Master (ViewMail for Outlook)	5

か

確認

電子メール アプリケーションでのボイス メッセージ	32
メッセージ	
ViewMail for Notes での	24
ViewMail for Outlook での	8

管理

電子メール アプリケーションでのボイス メッセージ、概要	31
メールボックス サイズ	34

き

キーボード ショートカット、Media Master	
ViewMail for Notes	21
ViewMail for Outlook	6

こ

更新

Cisco PCA パスワードと一致させる電子メール アプリケーションのパスワード	32
パスワード	
Cisco PCA パスワードと一致させるための ViewMail for Notes での	27
Cisco PCA パスワードと一致させるための ViewMail for Outlook での	14

構成、セキュア メッセージング設定

ViewMail for Notes	28
ViewMail for Outlook	13

さ

再生デバイス、変更

Media Master (ViewMail for Notes)	20
Media Master (ViewMail for Outlook)	4
ViewMail for Outlook	12

サウンド、新しいボイス メッセージを通知、ViewMail for Outlook での変更

ViewMail for Notes	19
ViewMail for Outlook	3

削除

ViewMail for Outlook での削除されたメッセージの手動消去	10
電子メール アプリケーションでのボイス メッセージ	32
メッセージ	
ViewMail for Notes での	25
ViewMail for Outlook での	9

削除されたメッセージ、ViewMail for Outlook での手動消去 **10**
 削除済みアイテム、メールボックスサイズへの影響 **34**

し

自動ボイス メッセージ再生設定、ViewMail for Outlook での変更 **12**
 受信確認、電子メール アプリケーション **32**
 ショートカット、Media Master のキーボード
 ViewMail for Notes **21**
 ViewMail for Outlook **6**

せ

セキュア メッセージング設定、構成
 ViewMail for Notes **28**
 ViewMail for Outlook **13**

そ

送信されたボイス メッセージ、ViewMail for Outlook での保存設定の変更 **12**
 送信、ボイス メッセージの
 ViewMail for Notes での **23**
 ViewMail for Outlook での **7**
 電子メール アプリケーションから **31**
 速度、すべてのメッセージのスピーカー再生の変更、Media Master (ViewMail for Outlook) **5**

て

電子メール アプリケーション
 Cisco PCA パスワードと一致させるためのパスワードの更新 **32**
 ボイス メッセージの確認 **32**
 ボイス メッセージの管理について **31**
 ボイス メッセージの削除 **32**
 ボイス メッセージの送信 **31**
 ボイス メッセージの転送 **31**

転送

電子メール アプリケーションからのボイス メッセージ **31**
 メッセージ
 ViewMail for Notes での **25**
 ViewMail for Outlook での **9**

転送されたメッセージ、メールボックス サイズへの影響 **34**

添付ファイル、メールボックス サイズへの影響 **34**

は

パスワード、更新

Cisco PCA と一致させるための ViewMail for Notes での **27**
 Cisco PCA と一致させるための ViewMail for Outlook での **14**
 Cisco PCA と一致させる電子メール アプリケーション **32**

へ

変更

Cisco PCA パスワードと一致させる電子メール アプリケーションのパスワード **32**
 IMAP アカウント設定、ViewMail for Outlook **14**
 ViewMail for Outlook の録音デバイスと再生デバイス **12**
 新しいボイス メッセージを通知するサウンド、ViewMail for Outlook **11**
 再生デバイス
 Media Master (ViewMail for Notes) **20**
 Media Master (ViewMail for Outlook) **4**
 自動ボイス メッセージ再生設定、ViewMail for Outlook **12**
 すべてのメッセージのスピーカー再生音量
 Media Master (ViewMail for Notes) **21**
 Media Master (ViewMail for Outlook) **5**
 すべてのメッセージのスピーカー再生速度、Media Master (ViewMail for Outlook) **5**
 送信されたボイス メッセージの保存設定、ViewMail for Outlook **12**

パスワード

Cisco PCA パスワードと一致させるための
ViewMail for Notes での **27**

Cisco PCA パスワードと一致させるための
ViewMail for Outlook での **14**

録音デバイス

Media Master (ViewMail for Notes) **20**

Media Master (ViewMail for Outlook) **4**

返信、メッセージ

ViewMail for Notes での **24**

ViewMail for Outlook での **8**

ほ

ボイス メッセージ

Unity Connection メッセージシステムから

ViewMail for Notes **24**

ViewMail for Outlook **8**

送信

ViewMail for Notes での **23**

ViewMail for Outlook での **7**

電子メール アプリケーションから **31**

電子メール アプリケーションからの転送 **31**

電子メール アプリケーションでの確認 **32**

電子メール アプリケーションでの管理について **31**

電子メール アプリケーションでの削除 **32**

「メッセージ」も参照

め

メールボックス

一杯になる理由 **33**

一杯の通知 **33**

サイズの管理 **34**

メールボックス サイズを管理するためのヒント **34**

メッセージ

「ボイス メッセージ」も参照

メッセージ

確認

ViewMail for Notes での **24**

ViewMail for Outlook での **8**

削除

ViewMail for Notes での **25**

ViewMail for Outlook での **9**

転送

ViewMail for Notes での **25**

ViewMail for Outlook での **9**

返信

ViewMail for Notes での **24**

ViewMail for Outlook での **8**

メッセージ保持ポリシー、メールボックス サイズへの影響 **33**

ろ

録音、サウンド ファイルの使用

ViewMail for Notes **19**

ViewMail for Outlook **3**

録音デバイス、変更

Media Master (ViewMail for Notes) **20**

Media Master (ViewMail for Outlook) **4**

ViewMail for Outlook **12**